

## 施工後、現場対応でリモコン相互干渉防止にする場合

- ・'12アプリコットF1A (TCF4711AU V6/V80/V86)
- ・'12アプリコットF2A (TCF4721AU V6/V80/V86)
- ・'12アプリコットF3A (TCF4731AU V80/V86用)

### 1. 施工後の対応

万一、連立トイレに正規品のみを取り付けて誤作動した場合は、現場で特注品に切り替えることができます。

この場合は、必ずリモコンと本体に特殊コードラベルを貼ってください。(メンテナンス性向上のため)

特殊コードラベルの品番は、[特殊コードラベル一覧](#)をご確認ください。

### 2. 連立トイレの配置例

**\* 便器洗浄リモコンを併設するため、特1～特6で切り替えてください。**

**理由: 便器洗浄リモコン側が、特6までしか設定できないため。**

正 規 品	( タ イ プ 1 ) 1	( タ イ プ 2 ) 2	正 規 品	( タ イ プ 1 ) 1	( タ イ プ 2 ) 2
( タ イ プ 3 ) 3	( タ イ プ 4 ) 4	( タ イ プ 5 ) 5	( タ イ プ 3 ) 3	( タ イ プ 4 ) 4	( タ イ プ 5 ) 5

3. 連立トイレ対応方法

※設定変更が下記説明書で行えない場合は、TOTOメンテナンスへご依頼下さい。(有償)

＜＜本体側の設定方法＞＞ ※作業途中で失敗した場合は、もう一度最初からやり直してください。

リモコン特殊コード切り替え方法(ウォシュレット本体側)

**手順**

**作業の前に…**

特殊モード設定作業はベースプレートからウォシュレットを取り外しても作業ができます。狭いトイレなどの場合は、ベースプレートからウォシュレットを取り外しての作業をお勧めします。

①ボタンを押したまま  
②ウォシュレット本体を手前に引く

本体取りはずしボタン

---

◆途中で失敗した場合は、もう一度最初からやり直してください。

**1**

本体操作部の **運転** 入/切 を10秒以上押し続ける。

10秒後に本体の全表示ランプが**5秒間点灯**します。

**本体表示部**

● 運転 きれい ● 運転 きれい ● 運転 きれい  
● 便座 ● 便座 ● 便座  
● 節電 ● 節電 ● 節電

緑色点灯 → 橙色点灯 → ランプが全点灯から一部点灯または点滅したら最初からやり直してください

この間**5秒**

＜＜下図は例です＞＞

**本体操作部**

運転 流す ビデ おしり  
入/切 大 入/切 入/切

手順3まで押したまま

---

**2**

**運転** 入/切 を押したまま本体の全ランプが点灯(5秒間)すると、**すぐに** **ビデ** 入/切 を5秒以上押す。

5秒後に手順3の設定コードのようにランプが点灯します。

**本体操作部**

運転 流す ビデ おしり  
入/切 大 入/切 入/切

---

◆途中で失敗した場合は、もう一度手順1からやり直してください。

**3**

**運転** 入/切 を押したまま、**おしり** 入/切 スイッチを押す。

**おしり** 入/切 を押す度に標準→特1→特2…特9→標準と設定が切り替わります。

**\* 便器洗浄リモコンを併設するため、特1～特6で切り替えてください。理由：便器洗浄リモコン側が、特6までしか設定できないため。**

**本体表示部**

●…緑点灯 ▲…橙点灯 ×…消灯

設定コード	標準	特1	特2	特3	特4	特5	特6	特7*	特8*	特9*
運転	●	×	●	×	●	×	●	●	×	●
便座	●	●	×	×	●	●	×	●	●	×
節電	●	●	●	●	×	×	×	▲	▲	▲

**本体操作部**

運転 流す ビデ おしり  
入/切 大 入/切 入/切

---

**4**

◆手順1、2の操作で設定したコードを確認することができます。

**運転** 入/切 から手を離れた時点で設定したコードになります。

---

**5**

ウォシュレット本体の背面に切り替え後の特殊コードラベルを貼る。

コードラベル

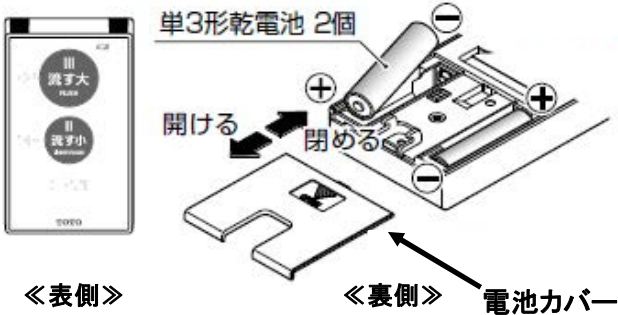
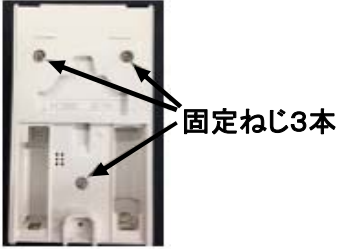
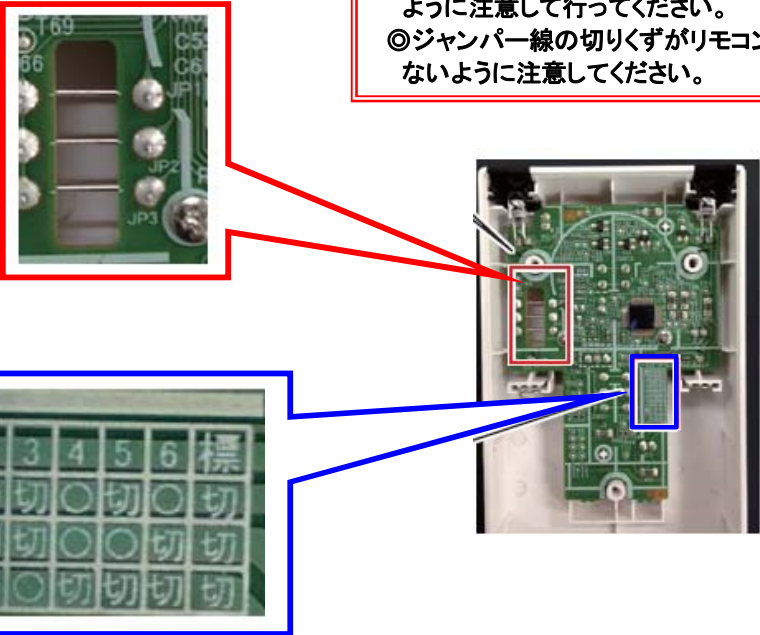
※リモコン側の切替作業終了後、必ず**作動確認**を行ってください。

<<リモコン側の設定方法>>

手順	リモコン特殊コード切り替え方法(リモコン側)																																																																			
1		<p>①リモコンハンガーからリモコンを取りはずす。</p> <p>②電池カバーを開けて、乾電池を取りはずす。</p> <p>③「止」スイッチを押したままにして、液晶表示が消えることを確認する。 (電源が入ったままだと切替わらない場合があります。)</p> <p><b>ご注意!!</b> 電池を必ず抜いて作業を行ってください。 電池を抜かないと連立モードに切り替わりません。</p>																																																																		
2		<p>リモコン裏面のねじ4本をプラスドライバーではずし、裏板を取りはずす。 ◆裏板を外す際は、上側から外してください。 (下側から外すと外れにくい場合があります。)</p> <p><b>ご注意!!</b> 基板には触らないようにお願いします。 人体の静電気で破壊するおそれがあります。</p>																																																																		
3	 <p>◎:つながったまま ×:切断</p> <table border="1" data-bbox="256 1137 1046 1346"> <thead> <tr> <th>コード</th> <th>標準</th> <th>特1</th> <th>特2</th> <th>特3</th> <th>特4</th> <th>特5</th> <th>特6</th> <th>特7*</th> <th>特8*</th> <th>特9*</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ジャンパ線</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>JP1(J1)</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>◎</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>JP2(J2)</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>◎</td> <td>◎</td> </tr> <tr> <td>JP3(J3)</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>◎</td> <td>◎</td> </tr> <tr> <td>JP4(J4)</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>	コード	標準	特1	特2	特3	特4	特5	特6	特7*	特8*	特9*	ジャンパ線											JP1(J1)	◎	×	◎	×	◎	×	◎	×	◎	×	JP2(J2)	◎	◎	×	×	◎	◎	×	×	◎	◎	JP3(J3)	◎	◎	◎	◎	×	×	×	×	◎	◎	JP4(J4)	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	×	×	<p><b>ご注意!!</b></p> <p>◎ジャンパー線の切断は、切りまちがえないように注意して行ってください。 ◎ジャンパー線の切りくずがリモコン内に入らないように注意してください。</p> <p>リモコン基板上の4本のジャンパー線を、左表にしたがってニッパで切断することにより特1～特6へ切り替える。</p> <p><b>* 便器洗浄リモコンを併設するため、特1～特6で切り替えてください。理由: 便器洗浄リモコン側が、特6までしか設定できないため。</b></p>
コード	標準	特1	特2	特3	特4	特5	特6	特7*	特8*	特9*																																																										
ジャンパ線																																																																				
JP1(J1)	◎	×	◎	×	◎	×	◎	×	◎	×																																																										
JP2(J2)	◎	◎	×	×	◎	◎	×	×	◎	◎																																																										
JP3(J3)	◎	◎	◎	◎	×	×	×	×	◎	◎																																																										
JP4(J4)	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	×	×																																																										
4		<p>①裏板をねじでリモコンに取り付ける。</p> <p>②リモコンに乾電池を入れてリモコンを取り付けてください。 ◎乾電池の入れかたは、手順1を参照してください。</p> <p><b>ご注意!!</b> 裏板を取り付ける前に、電池端子が正しく取り付けられていることを確認してください。</p>																																																																		
5	 <p>例 リモコンコード特1 このリモコンは特1タイプの本体のみを操作できます。</p>	<p>切り替え後の特殊コードラベルを貼る。 ◎リモコンの裏面に貼付してください。</p>																																																																		

※1 ウォシュレット本体側の切替作業終了後、必ず作動確認を行ってください。  
 ※2 基板内部を扱う作業になりますので、静電気及び取り扱いには十分ご注意ください。  
 (内部精密機器を破壊するおそれがあります。)

## &lt;&lt;リモコン側(便器洗浄用リモコン)の設定方法&gt;&gt;

手順	リモコン特殊コード切り替え方法(リモコン側)																																					
1	<p>①リモコンハンガーからリモコンを取りはずす。</p> <p>②電池カバーを開けて、乾電池を取りはずす。</p> <div data-bbox="199 369 778 504" style="border: 1px solid red; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><b>ご注意!!</b> 電池を必ず抜いて作業を行ってください。 電池を抜かないと連立モードに切り替わりません。</p> </div>																																					
2	<p>リモコン裏面の固定ねじ3本をプラスドライバーではずし、裏板を取りはずす。</p>																																					
3	<p>リモコン基板上の3本のジャンパー線を、下表にしたがってニッパで切断することにより特1～特6へ切り替える。</p> <div data-bbox="288 1402 842 1664" style="border: 1px solid blue; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td></td> <td>標</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>5</td> <td>6</td> <td>標</td> </tr> <tr> <td></td> <td>JP1</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td></td> <td>JP2</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td></td> <td>JP3</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> </table> </div>		標	1	2	3	4	5	6	標		JP1	○	○	○	○	○	○	○		JP2	○	○	○	○	○	○	○		JP3	○	○	○	○	○	○	○	<div data-bbox="906 920 1465 1133" style="border: 1px solid red; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p><b>ご注意!!</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎ジャンパー線の切断は、切りまちがえないように注意して行ってください。</li> <li>◎ジャンパー線の切りくずがリモコン内に入らないように注意してください。</li> </ul> </div> 
	標	1	2	3	4	5	6	標																														
	JP1	○	○	○	○	○	○	○																														
	JP2	○	○	○	○	○	○	○																														
	JP3	○	○	○	○	○	○	○																														
4	<p>①裏板をねじでリモコンに取り付ける。</p> <p>②リモコンに乾電池を入れてリモコンハンガーに取り付けてください。 ◎乾電池の入れかたは、手順1を参照してください。</p>																																					
5	<p>切り替え後の特殊コードラベルを貼る。 ◎リモコンの裏面に貼付してください。</p>	<div data-bbox="938 1877 1251 2007" style="border: 1px solid gray; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p><b>リモコンコード特1</b></p> <p>このリモコンは特1タイプの本体のみを操作できます。</p> </div>																																				

※1 ウォシュレット本体側の切替作業終了後、必ず作動確認を行ってください。

※2 基板内部を扱う作業になりますので、静電気及び取り扱いには十分ご注意ください。  
(内部精密機器を破壊するおそれがあります。)